でない。自形結晶は径 0.5~1mm, 長さ 3~5mm であるが, 結晶外形の明らかでない灰白色種では柱の長さ 1cm あまりに達するものがある。

帯緑灰黄色の部は鏡下では無色で殆んど夾雜物がないので, この部をえらんで分析した結果は次表のとおりである。

之より化学式を求めると $\text{Ca}_{0.93} (\text{Mg}_{0.83}, \text{Fe}^{\text{II}}_{0.11}, \text{Fe}^{\text{III}}_{0.02} \text{Al}_{0.06}) \text{Si}_{2.00} \text{O}_{6.00}$ となり, 理論式の $\text{Ca} (\text{Mg}, \text{Fe}) \text{Si}_2 \text{O}_6$ にほぼ一致し, 灰鉄輝石分子約 4% を含む透輝石である。

なお金ヶ崎の対岸 (荒川右岸), 美野町新井の河原に露出する多くの蛇紋岩塊の中にもこれと同様な透輝石の脈が存在するが, この方は更に結晶が粗大で, かつ緻密な集合をなし, 色調も灰緑色あるいは淡緑色である。また新井の蛇紋岩中にはこの他透閃石 (tremolite) 脈, 斜灰簾石 (clinozoisite) 脈, 硬蛇紋石 (picro-lite) 脈等が見られる。透輝石が蛇紋岩中に脈をなして産する例は, 北海道石狩国金山駅附近で蛇紋岩を貫いて発達する所謂ロヂン岩中に灰礬ザクロ石と共に産することが, 鈴木醇¹⁾によつて報告されており, また未発表ではあるが佐賀県東松浦郡厳木地方の蛇紋岩中にも見出されて居る。

SiO_2	55.45%
Al_2O_3	1.16
FeO_3	0.27
Fe_2O	3.66
CaO	24.20
MgO	15.07
Na_2O	0.02
$\text{H}_2\text{O}(+)$	0.52
$\text{H}_2\text{O}(-)$	0.14
	100.49

分析者 芦沢 峻

文 献

鈴木醇: 岩礦 23 108 (1940)

2 埼玉県大正寺産緑閃石

Actinolite from Daisho-Ji, Saitama Prefecture

櫻井 欽一 (Kin-ichi Sakurai)

芦沢 峻 (Takashi Ashizawa)

埼玉県大里郡寄居町末野字大正寺の国分寺瓦窯趾附近は三波川系の石墨片岩と緑泥片岩の互層よりなつて居るが, そのやゝ北に新設された用水池の東南岸に緑閃石 (actinolite) よりなるレンズが存在する。(露頭は五万分の一「寄居」Cb 中央上部大正寺と印刷された寺の部の上 5mm 位のところで道

の曲り角近くにあるが、現在用水池拡張工事のためズリ石の下に埋没してしまつた)。このレンズは少量の石英、方解石、及び白色繊維状の石棉を伴うのみで、殆んど大部分緑閃石よりなり、走向 N50°E、傾斜 25°E、巾 3m、厚さ 40cm 程である。

緑閃石は濃緑色で長さ 3cm、巾 2mm に達する長柱状結晶の錯雑した集合をなし、柱は多く撓曲し、また屈曲している。

純粋の試料をえらび分析した結果は次の如くである。この値より化学式を求めると、 $(\text{Ca}_{0.87}, \text{Na}_{0.04})_2 (\text{Mg}_{0.82}, \text{Fe}^{\text{II}}_{0.10}, \text{Fe}^{\text{III}}_{0.02}, \text{Al}_{0.08})_5 (\text{Si}_{4.12}, \text{O}_{11.00})_2 (\text{O}_{1.00}, \text{H}_{0.76})_2$ となり緑閃石の理論式 $\text{Ca}_2 (\text{Mg}, \text{Fe})_5 (\text{Si}_4\text{O}_{11})_2 (\text{OH})_2$ によく一致する。

結晶は柱面 (110) を認めるのみですべて端面を欠きまた愛媛県五良津山や高知県吉野等に見られる斜軸面 (010) は見出されなかつた。

なお長瀬地方の三波川系結晶片岩中、およびこれに伴う滑石塊中には諸所に緑閃石を産し、現在までに次の個所が知られている。

埼玉県大里郡折原村折原 (滑石片岩中)

秩父郡白鳥村岩田 (滑石の大塊中)

秩父郡国神村金ヶ崎 (滑石片岩中)

本地のものはそれ等のものに比し結晶が大であることと、緑閃石のみのレンズをなし殆んど滑石を伴わない点が異つている。

SiO ₂	58.74%
Al ₂ O ₃	3.32
Fe ₂ O ₃	0.86
FeO	4.24
CaO	11.60
MgO	19.81
Na ₂ O	0.25
H ₂ O(+)	0.74
H ₂ O(-)	0.07
	99.63

この他 MnO,
NiO, CuO 何れも
痕跡
分析者 芦沢 峻

3 福島県石川地方産チタン鉄鉱

Ilmenite from Ishikawa, Fukushima Prefecture

桜井 欽一 (Kin-ichi Sakurai)

芦澤 峻 (Takashi Ashizawa)

福島県石川郡石川地方のペグマタイト中よりチタン鉄鉱を産することは既に知られているが、その産出は稀である。

最近石川花崗岩地帯の最南西部にあたる石川町猫啼温泉裏のペグマタイト中より多量のフェルグソン石に伴い、やや多くのチタン鉄鉱が産出した。チ